

公共政策フォーラム 2015 in 釧路の開催について

公共政策フォーラム委員長 林沼 敏弘

2015年度の公共政策フォーラムは、「東京、大都市部から地方へ ひとの流れが地方を元気に、日本を元気に」というテーマで、10月17日(土)・18日(日)の2日間、北海道釧路市を会場として開催いたします。17日は学生コンペと交流会を、また、18日はコンペの優秀グループによる発表、シンポジウムの開催を予定しています。

学生を対象とした政策コンペにつきましては、下記の要領で開催しますので、会員の皆様のゼミ等でのご指導に活用いただき、多数のご応募をお待ちしています。

なお、18日のフォーラムの詳細につきましては、詳細が決まりましたら学会ホームページで公表するとともに会報でお知らせする予定です。

◆学生コンペの概要

1 テーマ

「東京、大都市部から地方へ ひとの流れが地方を元気に、日本を元気に」

釧路市の平成25年の推計人口は、平成22年との比較において、41.4%も減少し、181,167人から106,085人まで減少する。また、生産年齢人口(15歳以上64歳以下)は、54.2%も減少し、113,651人から52,021人へ減少する。これは、昨年5月に日本創成会議が発表した予測に基づくものであり、この中で釧路市は消滅可能性都市の一つに挙げられた。

この人口急減という課題は、釧路市に限ったことではなく、日本のどの地方も直面している大きな課題である。この課題認識のもと、人口減少の克服と地方創生をあわせて行い、将来にわたって活力ある日本社会の維持を目指す「まち・ひと・しごと創生法」が昨年11月に施行された。この法律に基づき、国は自ら「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方においても、この戦略を勘案した通称「地方版総合戦略」を策定するよう努めなければならないとされている。

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の一つに、「地方への新しいひとの流れをつくる」があり、地方移住の推進、企業の地方拠点強化、地方大学の強化などが政策パッケージとして掲げられている。

釧路市では、こうした動きに先駆け、予測される人口減少社会の急速な進行、長引く地域経済の低迷などにしっかりと向き合うため、平成24年度に策定した「政策プラン」に基づき、「外から稼ぐ」取組に重点をおいた市政運営を進めており、観光客や長期滞在者の誘致促進など交流人口の拡大に向けた取り組みを加速させている。

このような取組を国も地方も進めなければならない背景には、地方の人口減少が進むことで、経済規模が縮小し、一人当たりの国民所得が低下するとともに、地方に比べ出生率の低い東京圏への若い世代の集中が日本全体のさらなる人口減少をもたらしているという危機感がある。

『地方へのひとの流れを創る。』

これが地方を元気に、日本を元気にする、今まさに取り組まなければならない政策の一つだと考える。ゆえに、地方が自らの知恵と責任により、限られた資源を活用して、たとえ小さくても、「東京、大都市部から地方へ」のひとの流れを確実に、そして早急に創り出さなければならない。

今回の学生コンペにおいては、地方の喫緊の課題と言える、「東京、大都市部から地方へ」の人の流れをどう創るかについて、国の政策パッケージにとらわれることなく、交流人口の拡大などを含め、学生諸君の様々な角度からの現状分析と事例研究等に基づく、釧路市をはじめとした地方への政策提言を望む。

【参考資料 1】 釧路市総合計画

<http://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/shisaku/sougoukeikaku/sougou/0001.html>

【参考資料 2】 釧路市都市経営戦略プラン

http://www.city.kushiro.lg.jp/machi/t_keiei/0001.html

【参考資料 3】 政策プラン

http://www.city.kushiro.lg.jp/machi/t_keiei/page00010.html

【参考資料 4】 くしろ地域政策本

http://www.city.kushiro.lg.jp/machi/t_keiei/page00021.html

2 会場

(1) 1日目【10月17日(土)】

- ・ 釧路公立大学（釧路市芦野4丁目1-1）

<http://www.kushiro-pu.ac.jp/>

※釧路市役所周辺より釧路公立大学までの無料シャトルバスを運行する予定です。

(2) 2日目【10月18日(日)】

- ・ 釧路市生涯学習センターまなぼっと幣舞（釧路市幣舞町4番28号）

<http://www.kushiro-bunka.or.jp/manabo/>

3 コンペ実施日

10月17日(土)（開始時間は、応募団体数を勘案して決めます。）

優秀賞受賞グループによる発表を、10月18日(日)に行います。

4 応募方法など

(1) 応募は、1ゼミ1チームとさせていただきます。

参加を希望されるゼミは、別紙「学生コンペ参加申込書」(word形式)を提出ください。

この政策コンペは、学部生を対象としたものです。

応募締切 6月26日(金) 17:00(必着) 郵送又はE-mailでご提出ください。

(2) 応募後の提出資料

応募以後、以下を電子メール等により提出いただく予定としていますので準備をお願いします。

① 要約(小論文)の提出…9月末頃までに1万字程度(図表含む)の小論文を提出いただく予定です。

② 当日発表資料の提出…パワーポイント資料を開催の直前に提出いただく予定です。

(3) 応募ゼミが多数の場合は、カテゴリーなどを参考に審査を分割して行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(4) 宿泊先及び交通アクセスについて

① 宿泊先

釧路観光コンベンション協会ホームページ
(<http://www.kushiro-kankou.or.jp/db/stay.cgi>) もしくは上記【参考資料4】「くしろ地域政策本」の36頁をご覧ください。

なお、4月9日現在インターネット上の宿泊予約サイトでは、10月の宿泊をまだ取り扱っていない場合がありますので、直接宿泊先へお問い合わせください。

② 交通アクセス

【航空便】

東京羽田⇄釧路(6往復)

札幌千歳⇄釧路(3往復)

札幌丘珠⇄釧路(3往復)

【特急列車】

札幌⇄釧路(6往復)

【都市間バス】

札幌⇄釧路(2社で運行、各社4~5往復)

③ その他

航空便の早期予約、格安航空会社、パック旅行などをご活用いただくことで、比較的安価に釧路市へお越しいただけます。

(5) コンペのテーマに関するお問い合わせ先・申し込み先

【公共政策フォーラム2015in釧路 事務局】

釧路市総合政策部都市経営課企画担当 担当:天内、坂井、新保

〒085-8505 北海道釧路市黒金町7丁目5番地

電話:0154-31-4502

E-mail:to-kikaku@city.kushiro.lg.jp